

令和元年度 第1回岡崎市図書館協議会議事録

- 1 日時 令和元年7月23日 午後2時開始、午後4時終了
- 2 場所 図書館交流プラザ（りぶら）
1階 103会議室
- 3 出席者
 - (1) 出席委員 柴田委員、中村委員、平岩委員、江良委員、白石委員、浦部委員、浅岡委員、横山委員
 - (2) 傍聴者 1名
 - (3) 説明のため出席した事務局職員
河内社会文化部長、三宅中央図書館長、大山館長代行、鈴木総務係長、天野資料提供サービス係長、上川畑情報サービス係長、杉山主任主査、都築主事
- 4 次第
 - (1) 社会文化部長あいさつ
河内社会文化部長あいさつ
 - (2) 委員紹介
各委員自己紹介による
 - (3) 会長及び副会長選出
会長：柴田委員、副会長：中村委員を互選
 - (4) 会長あいさつ
柴田会長あいさつ
 - (5) 議事
 - ア 平成30年度の事業報告
 - イ 令和元年度重点目標・事業計画
 - ウ その他

(6) その他事務連絡

5 報告及び議事の要旨

(1) 平成 30 年度の事業報告
事務局から説明

(議長)

- ・事業報告について、何か質問などあれば発言いただきたい。

(委員)

- ・児童読書活動支援業務の利用が増加しているということだが、どのように分析しているか。

(事務局)

- ・主な要因としては、この事業の中の 2 つの業務が該当すると考えられる。

1 つ目は、小学校等に学校規模別の冊数を定期的に配送するという、セット貸出業務である。

2 つ目は、学校の授業に使われるテーマで先生方からの要望を受けて、そのテーマの本をこちらで選んで配送するという、授業支援資料の提供業務である。当初あまり周知できていなかったが、この事業の周知に努めた結果、貸出件数が増加してきたと考えている。

- ・平成 28 年度頃にはテーマ別のセット貸しを作り、学校の教科でよく使われるテーマをあらかじめ一つのセットにし、リストをホームページの方で上げるなどして利用が増えてきたのではないかと分析している。

(委員)

- ・学校の立場から意見を言うと、授業で例えば浮世絵をテーマに扱うことにした際に写楽とか広重とか浮世絵の本について、相談したらすぐに対応してもらえた。授業支援という意味では、非常に効果的な事業だと感じている。

(委員)

- ・徐々に貸出数が減っていると思うが、この 5 年間で 10 万冊ほど減少していた。追加で事務局に作成してもらった資料では、その中で全体としては目立って減ってはいないが、去年から今年で若干増えていた。これは額田図書館で利用が増えたことが影響していると思う。また、地域図書室で見れば全体としては増えており、岡崎市全体としては悪い数字にはなっていない。

ないと見るができると思う。

・地域図書室の貸出者数の推移からすると、岡崎市の市域が広いので、地域図書室を充実させることが重要だと思う。地域図書室の蔵書を増やすということは大変なことだと思うが、一律に実施せずとも、中央図書館から遠いところ、人口の多いところ、そういうところをより一層増やすと良いのではと思う。

(事務局)

・地域図書室の充実等について、意見として承りたい。

(委員)

・中央図書館の貸出者の年代を分析すると、子どもの年代は順調に増えているが、大人（16歳以上）は徐々に減っていることが分かった。年代別に貸出件数を事務局に出してもらったところ、20代から30代の若い年代が減っており、16歳以上30代までの層が大きく減っていた。これは、人口が減少していることが影響したのではなかった。その一方で高齢層の利用者は減るどころか、増えていると思う。図書館としては、どの年代にターゲットを絞るのか、その対策として何が出来て、出来ないかを考えていく必要があると思った。

(委員)

・本と触れ合う出発点が乳幼児期ということで、ここ1～2年くらい、幼稚園での業務で感じた感想だが、本の読み聞かせ等の際に子どもが静かに出来ない時、スマホやタブレット等の端末で親御さんが操作していることが多い印象がある。子どもは教えられることよりも、自分の体で体験して身に付けていくが、子どもの日常では映像媒体やスマホなどが身近になっているため、本に自然に馴染んでいくことはすごく難しいと感じる。

その対策として、昨年から園で保護者向けに絵本の読み聞かせを始めている。

(議長)

・子どもの保護者に対しての読み聞かせは、今回初めて聞き、現状について知ることが出来た。

(委員)

・「登録者数」について、登録から除かれる人はどれくらいいるか。そもそも除外することを考慮したシステムとなっているか。登録をして申告があれば別だが、例えば高齢者で、ある年齢から区切って除籍するとか、そのようなデータ処理を行っているか。

(事務局)

・中央図書館がりぶらに移転した後、これまでに2回ほど登録者の削除を行った。これについては、登録されている利用者データに対して本市の住民データを照会し、登録者の住所、生年月日及び名前でもマッチングした結果、明らかに亡くなっている方のみ削除した。

(議長)

・岡崎市の図書館の状況を客観的に把握しようとする場合、岡崎市は比較的本の貸出冊数でいうと多いと思われたが、他の市町村と比べて、例えば1人あたりとか、登録者数に対してどのように捉えているのか参考までに聞きたい。

(事務局)

・単純に貸出冊数でいくと、2年ほど前のデータでは、冊数として1番は名古屋市、次に豊田市で、岡崎市は4番目だった。これは、合計貸出冊数である。市民一人当たりの貸出冊数は、図書館概要39ページの活動件数に記載している。

・市民一人当たりの貸出数は、30年度は6.07冊となっている。全国の中核市と比較した中では、一人当たりの貸出冊数でいうと、10番目程度になるので、50市ほどある中では、やや上位の方だと認識している。

(2) 令和元年度の重点目標・事業計画

事務局から説明

(議長)

・重点目標及び事業計画について、何か質問などあれば発言いただきたい。

(委員)

・重点目標の4番目に関し、外国語をルーツに持つ子どもが、日本語が少し苦手な外国語は読めるが、自分の母国語の絵本と同じ日本語の絵本を2冊読み比べたい場合に、ホームページで検索すると検索しづらいと思う。もう少しリストの記載を工夫する機会があると良いと思う。

・原典が外国語作者の本では、外国語の本だけがまとめられているが、この日本語版を探す場合、職員に聞けば教えてもらえるというのは分かるが、聞きづらい場合には自分でその対照リストを見ることができれば、多くの子どもが助かるのでは、と思う。そのようなリストの準備もしてはどうかと思う。

(委員)

・事業計画の内、その他図書館事業について、今年の夏休みに小中学校の学校司書と教員との連携という観点で研修会を開催し、その講師として図書館職員にも来ていただくことになっている。小中学校としてはとても助かっており、この点についてもその他図書館事業に書き入れてもらえるとういと思う。

(委員)

・重点目標の中で、地域の資料を充実させるとあるが、どのように募集するのか。住民から、例えば家にある古い写真やはがき、また、古い地図等の寄贈を受けるなどして、資料を充実させるということか。また、地域資料の受入れとは具体的にどのようなことをしているか。

(事務局)

・積極的に募集をかけるということはないが、自費出版した方があったという情報が寄せられれば、寄贈をお願いして資料登録をする。また、地域資料の受入れとは、その資料を登録して、貸出又は閲覧ができるようにすることである。

(委員)

・昨年度の協議会で、収入源として広告収入のようなことを考えていると聞いていたが、現在の状況はどうか。

(事務局)

・現状では主に2つ収入源がある。

1点目は、従来から行っている雑誌スポンサー制度で、現在も継続している。雑誌スポンサー制度は、中央図書館で受入れしている雑誌を企業又は個人に毎号購入してもらう代わりに、その雑誌の最新号に、表紙にカバーを付けて広告を挟み込むことができる制度である。

2点目としては、図書館のホームページにバナー広告の募集をしているが、これは現在も継続している

・バナー広告については、現在も広告代理店と契約し、今年度については、今年の7月から来年の6月末までの契約となっている。

・雑誌スポンサー制度については、現時点でスポンサーが付いた雑誌が12冊あり、雑誌の価格は変動があるため、金額は不確定ながら、15万円弱程度となっている。

(委員)

・地域図書室において雑誌スポンサー制度は利用されているか。また、広告収入はあるか。

(事務局)

・ない。先に述べた収入は、すべて中央図書館の管理運営業務に充当している。

(委員)

・今後、地域図書室に展開する予定があるか。

(事務局)

・収入として得たものを財源として地域図書室の蔵書に充当することはできるかもしれないが、地域図書室で実施するためには様々な調整が必要で、すぐに実施することはできない。

(委員)

・職員の内、司書職員の人数が段々少なくなっている状況は全国的にあると思うが、岡崎市の状況はどのようになっているか。正規職員の司書の数が、この図書館では4人しかいないと思うが、一人は館長で、このような状況はかなり危機的状況にあると言ってもいいと思う。この図書館全体の正規職員としての司書をどのようにしていくのか。

・非常勤職員では、嘱託職員20名の内、司書が12名ということで、経験年数も長い職員がいる一方で、かなり短い職員も多いと思う。また、非常勤職員の処遇、給与は非常に低いと言われているが、図書館としてどういう風に司書職員を育て、採用していくのか。

(事務局)

・正規の職員に関して、岡崎市の場合、司書という職制がない。その職制を作るのは、人事的な問題であるので図書館では決められないが、司書の資格を持った方を職員に採用してほしいと要望は出している。また、資格を取っていなかった職員でも、図書館に配置されたことをきっかけに、自分で司書の資格を取得するよう努力している職員もいる。図書館の業務に意欲的に取り組める環境にはしておきたい、と思っている。

・非正規の職員に関しては、採用時に、司書の資格を持っている方を条件に採用している。事務補助と比較して専門的なスキルを持っていることを考慮し、賃金に反映するよう人事に要望しており、今後も努力していきたい。

(委員)

・重点目標の中で、危機管理対応を明確にするということだが、りぶらは複雑な建物になっているため、何かあったときはどうやって避難するのか疑問に思っている。そのため、避難マニュアル的なものはどこでも目につくところにあるべきではないかと思う。

(事務局)

・危機管理マニュアルと記載したのは、中央図書館に関してである。りぶら全体は市民協働推進課が管理しており、消防訓練防災訓練を年1回休館日に実施し、職員が避難誘導できるようにしている。参考意見として承りたい。

(委員)

・重点目標の中に、業務見直しということで高校生の学習席、整理券の配布を見直すとあったが、こちらの対策として実現可能な方法をまとめるとは、具体的にはどういった方法か。

(事務局)

・現在検討中の段階だが、列に並ぶことが大変な状況があり、できれば列に並ばずに事前予約できるような仕組みが取れると良いと考えている。具体的には今後取り組んでいくことになる。なお、現在は整理券を紙で配っている。

(議長)

・以前、市内の高校に勤めていたが、りぶらの休日に高校生が利用するときに、「地域住民の方から話し声が異常な騒音でなんとかしてほしい。そういう指導を高校の方で少し指導をしてほしい。」と聞いていたが、そういう状況が変わっていないということか。

(事務局)

・住民の方から騒がしいと言われないような列の向きで並ばせるようにし、以前とは若干方法を変更した。それでも、あまり状況は変わっていないので、午前7時30分頃から職員が出るようにしている。しかし、もっと早い午前7時とかもっと前から並んでいる方もいるので、どのようにしていくか検討中。

(議長)

・高校生だけでなく、一般の方を含めてのことか。

(事務局)

・一般の方は、基本、自習の席ではなく、1階に一般の方用の席を設けているので、一般の方は整理券の対象ではない。

(議長)

- ・もし高校の方で何かアナウンスをしないとイケないようなことが、何かあればまた意見をいただきたい。

(事務局)

- ・こちらからも整理券を配る時期について通知をしたいので、逆に高校に試験の時期について問い合わせしている。試験期間に合わせて整理券の配布時期を決めており、また年度初めは特に新入生の方がまだ色々分からない状況で、騒がしくしてしまうこともあるかと思う。このため各学校に自習席の利用に関して通知を出しているの、今後も引続き協力してほしい。

(3) その他

美術博物館等からイベントのお知らせがあり、チラシ等配布したので、足を運んでいただくようお願いしたい。

(議長)

- ・事務局の説明について質問事項はあるか。(なし)
 - ・その他事前質問以外で質問などはよろしいか。(なし)
- これで議事は全て終了である。

令和元年度重点目標

目 標 (解決すべき課題)	課題の解決方法・手段 (どのように)
1 図書館における危機管理対応について明確にするため、非常時の運営方針等を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の課題等について情報収集及び分析 ・関係先との意見調整 ・危機管理マニュアル等を制定し、関係者に周知
2 窓口業務委託に関する契約更新に向け準備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の動向等調査 ・受託候補業者等の調査 ・業務仕様書及び選定実施要領の作成
3 対面朗読サービス充実のため、ボランティア登録者数を増やし、対面朗読ボランティア活動指針を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読ボランティア養成講座開催 ・対面朗読ボランティア交流会による情報共有 ・対面朗読ボランティア活動指針作成のため情報収集
4 子ども図書室読みつがれ絵本をより魅力あるものにし、絵本に親しむ環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・読みつがれている絵本リストの見直し、及び必要な冊数の計画的購入 ・絵本リストやちらしの作成及び周知
5 ティーンズ世代に図書館や読書を身近に感じてもらうために、イベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内学校への連絡・調整、及びイベント内容等についての検討 ・情報紙「図書缶」やティーンズコーナーツイッターによる利用促進に向けた情報発信
6 岡崎に関する資料の網羅的な収集を目指し、調査・受入・提供を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・古書目録等からの資料調査 ・愛知県公文書館からの地籍図の複写委託 ・市役所各課に対する行政資料収集体制の整備 ・寄贈資料（和装本）の受入
7 地域資料を広く知ってもらうため、デジタル化を促進し、デジタル化資料を公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈されたデジタル化資料（写真）のシステム登録・公開 ・寄贈ポジフィルムのデジタル化及びシステム登録・公開 ・市役所各課で発行しているデジタル化資料について提供の呼びかけ
8 ビジネス支援サービス推進のため、岡崎ビジネスサポートセンターとの連携を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「Ok a-B i z ×図書館」コーナーのリニューアルを実施 ・ビジネスに関連したレファレンス又はセミナーについて情報共有 ・ビジネスに関する調べ案内ちらしを作成
【業務見直し】 業務の効率化を図るため、レファレンスカウンター従事体制を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・19時以降のレファレンスカウンター従事体制を見直し、試行的に配置人員を減らし課題を整理する。
【業務見直し】 業務の効率化を図るため、高校生の自主学習席の整理券配布方法を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・改革案について試行し、また、課題の検証を行う。 ・改革案の中で、運営が効率的かつ不公平感のない方法を検討し、実現可能な方法をまとめる。

令和元年度事業計画

講座事業

事業名	実施時期	講座内容
対面朗読ボランティア養成講座	5～7月 (6回)	絵本を使わずおはなしを語るストーリーテリングについて、実践する上での基本的な事項について学ぶ。
法律セミナー・データベース「D1-Law. Com」利用講座	10/26	弁護士による法律の解説と、データベース「D1-Law. Com」の使い方説明会
データベース「今日の臨床サポート」利用促進と図書館活用セミナー	11/19	図書館活用講座「糖尿病を予防してびんぴんころり」の開催とデータベース、医療情報コーナーの紹介
ブックスタートボランティア養成講座	11～12月 (4回)	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。
大人のための音読会	2月頃 (1回)	図書館が用意したテキストを、参加者が一緒に声を出して読み、作品に親しむ。

ビジネス支援事業

事業名	実施時期	講座内容
ビジネスセミナー	2月頃	日本政策金融公庫、オカビズ、岡崎商工会議所と共催してビジネス関連のセミナーを開催

テーマ展示

事業名	実施時期	内容
2階テーマ展示	年8回	季節やくらしの関心事などに応じたテーマを選定、関連資料を集め、ポピュラーライブラリーテーマ本コーナーで展示・貸出
ミニテーマ展示	随時	
企画イベント展示	随時	
ティーンズコーナーテーマ展示	年10回	季節やイベント、ティーンズの興味に合わせてテーマを選定、関連資料を集め、ティーンズコーナーで展示・貸出
子ども図書室テーマ展示	年8回	季節や行事に応じたテーマを選定、子ども図書室の資料から関連資料を集め、子ども図書室テーマ展示コーナーで展示・貸出
ビジネステーマ展示	年6回	ビジネスコーナーのテーマを選定、関連資料を集め、レファレンスライブラリーのビジネスコーナーで展示・貸出
高札展示	毎月	レファレンスライブラリー資料から選定、レファレンスライブラリーの高札コーナーで展示・貸出
1階展示	毎月	問題提起をテーマとし、レファレンスライブラリー資料から選定、レファレンスライブラリーの1階展示コーナーで展示・貸出
ガラスケース展示	年6回	レファレンスライブラリーのガラスケースコーナーで郷土資料を展示

読み聞かせ

事業名	実施時期	内 容	その他
赤ちゃんからの読み聞かせ	毎週火・木	赤ちゃんを対象としたボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
3さいからの読み聞かせ	毎週土	ボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
おはなしと紙しばいの会	毎週月・木	職員による読み聞かせ	中央図書館
ストーリーテリングにおいでよ!	毎月第4土	ボランティアによるストーリーテリング(絵本を使わずにお話を語る)のおはなし会	中央図書館
外国語の読み聞かせ	土(月1回)	英語、ポルトガル語、中国語のローテーションでボランティアにより実施	中央図書館
0・1・2おはなし会	毎月第3木	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
絵本のおはなし会	毎月第2土	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
おはなしの森 コロボックルおはなし会	毎週火	ボランティアによる読み聞かせ	南部市民センター図書室
お話と紙しばいの会	毎週日	南部市民センター職員による読み聞かせ	南部市民センター図書室
おはなし・グーチョキパー おはなし会	毎月第1・3金	ボランティアによる読み聞かせ	東部市民センター図書室
六ツ美おはなしの会 おはなし会	毎月第1土	ボランティアによる読み聞かせ	六ツ美市民センター図書室
おはなしポケットやはぎ おはなし会	毎月第1・3土	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
とんとんひろば おはなし会	毎月第2金	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
お話しの会おひさまパン おはなし会	毎月第3 火・4土	ボランティアによる読み聞かせ	岩津市民センター図書室
おはなし・ほたる おはなし会	毎月第1・3木	ボランティアによる読み聞かせ	大平市民センター図書室
おはなしあっぷっぷ おはなし会	毎月第4金	ボランティアによる読み聞かせ	げんき館情報ライブラリー

ブックスタート事業

事業名	内 容
ブックスタート	<p>生後4か月から1歳6か月未満の赤ちゃんとその保護者に対して、一組ずつに読み聞かせと絵本のプレゼントを行う。</p> <p><時期> 1歳6か月健康診査会場(岡崎げんき館) …火・水・金曜日 中央図書館 子ども図書室おはなしのへや …月・木曜日他 額田図書館 …偶数月第一木曜日 南部市民センター図書室 …奇数月第一木曜日</p>

イベント事業

事業名	実施時期	内 容
子ども読書の日記念イベント	4/18 ～4/22	子ども一日図書館司書体験（2日） ころころくまさんおはなし会「春うらら」 おはなし会「春のおはなし会」 ストーリーテリングにおいでよ！「春のおはなし会」
子ども図書室夏休みイベント	7/14～ 9/30	第22回「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品展（7/14～8/31） 子ども一日図書館司書体験（3日） 夏休み読書・自由研究相談（7日） 夏休み科学あそび講座（1日） 夏休み読書チャレンジ（7/20～9/30）
図書館まつり	7/26 ～7/28	読み聞かせ、パネル展示、ぬいぐるみおとまり会、朗読会、ふるさとかるた、ティーンズビブリオバトル、図書館クイズラリー等
りぶらまつり 2019	11/9、 11/10	図書館バックヤードツアー等
東海テレビ庄野アナと音読を楽しもう(仮)	12/8	庄野アナウンサーによる音読講座開催
子ども図書室冬休みイベント	12月 (2日間)	クリスマスのおはなし会
図書館福袋イベント	1月 (2日間)	中身が見えないように本を包み、貸出す
ティーンズ対象イベント	2～3月頃	市内高校と連携し、イベントを開催
図書館マナーアップキャンペーン	2月頃	図書館利用者のモラルの向上を図る目的で、汚損や破損により廃棄本となった図書を館内で展示
シネマ・ド・りぶら開催支援	年9回	図書館所蔵資料を活用した映画上映と関連資料の展示 ※りぶらサポータークラブとの共催事業

岡崎むかし館管理運営事業

事業名	実施時期	内 容
夏休み子どもイベント「むかし館クイズラリー」と社会科自由研究相談	7/22、23	昔のくらしや昔の岡崎に関するクイズラリーと社会科教諭による社会科自由研究の相談会
社会科研究作品展	9/28～10/8	展示(9/28～10/8)
むかし館読み聞かせ	5・7・10・ 12・2・3月	職員による季節のイベントにあわせた読み聞かせ
体験講座「触れてみよう、遊んでみよう、むかしの道具」	月1回 第3日曜	けん玉、お手玉など、懐かしい遊びに挑戦

むかし館で楽しむ「むかしばなし・紙芝居」	月1回 第4木曜	「岡崎むかし語りの会」によるむかしばなしと紙芝居
むかし館見学	随時	小学生のむかし館見学
むかし館企画展示	年5回	

その他図書館事業

事業名	実施時期	内 容
図書館見学	随時	小学生の図書館見学
職場体験		中学生の職場体験受入
教員研修	夏休み期間	新任者及び採用10年目の教員研修受入
図書館実習		司書講習における図書館実習生受入